



時間と距離を超え

7/29 ~ 安曇野市・福岡市東区青少年交流

市は福岡市東区との青少年交流事業を7月29日から4日間の日程で行いました。

この事業は、弥生時代に現在の福岡市東区で勢力を誇っていた「阿曇族」が、安曇野に移り住んだという伝説がきっかけとなり、平成3年に旧穂高町で始まりました。今年38人の子供が参加し、名所の見学や農業体験などを通じ、交流を深めました。吉村哲夫・東区長はあいさつで、「私自身、家族旅行で一番足を運ぶのが長野県。この地の良さをたくさん教えてください」と、安曇野の子どもたちに呼びかけました。



安全の技 競い合う

7/8 堀金小自転車部表敬訪問

市内で行われた第41回交通安全子供自転車地区大会で個人・団体共に優勝し、県大会出場を決めた堀金小学校の自転車部は7月8日、市を表敬訪問しました。

部長の大竹涼太君(6年)は、県大会への決意と共に「僕たちの活動で、交通事故が減って欲しい」と夢を語りました。

県大会は7月12日、長野市エムウェーブで開かれ、同部は、団体の部で6位に入賞しました。

3,100人が舞う

7/26 あづみ野祭り

第29回あづみ野祭り(主催:あづみ野祭り実行委員会)が7月26日、豊科駅前通りなどで開かれました。メインイベントのあづみ野ばやし踊りには、地元の区や企業、小学校のクラスなど、46の踊り連に約3,100人が参加しました。工夫を凝らした衣装やメイクに彩られた参加者の踊りは、時間とともに最高潮に達し、沿道に詰め掛けた見物客も熱気に包まれました。各コンテストの結果は以下のとおりです。

◎踊り連コンテスト(一般・分館)最優秀賞=ソニーVAIO・桜坂、優秀賞=豊科高校・成相、敢闘賞=豊科病院・安曇野メディア・新田区、ユーモア賞=文福・光区、アイデア賞=商工会・飯田連、綺麗で賞=日本舞踊の会・踏入公民館、エネルギッシュで賞=アズミ村田製作所・田沢連、心のふるさとで賞=市役所・白鳥の里 徳治郎、可愛いで賞=三郷中3年4組・真々部連、審査員特別賞=美容師組合・本村連

◎仮装コンテスト入賞者=太田英幸・平林和江(光)、市川千尋・市川良治(田沢連)、高橋裕司・山崎美枝・田中ひろ子(安曇野美容師組合)、白沢弘充(文福)、山口喬之(豊科金融団)、上田裕介(エプソン)



華麗な演舞 穂高の街を彩る

8/3 信州安曇野わさび祭り(YOSAKOI安曇野・納涼祭)

第25回信州安曇野わさび祭りが8月3日、穂高駅前通りと穂高神社で開かれました。日中はYOSAKOI安曇野が催され、県内外から43チーム・1,600人が参加。華麗な演舞が街を彩りました。夜の納涼祭では、穂高地域の住民を中心に33団体2,200人が「穂高音頭」や「穂高サンバ」を踊り、夏の一夜を過ごしました。なお、YOSAKOI安曇野の受賞結果は下記の通り。

◎YOSAKOI安曇野賞=信州大学YOSAKOI祭りサークル「和っしょい」(松本市)、わさび祭り賞=都咲喜(新潟県)、商工会青年部賞=夢舞二本松(福島県)、審査員特別賞=地球防衛軍(安曇野市)・大町Bissawaレッツゴー舞隊(大町市)・ソーレ・あづみの(安曇野市)、あんたが大賞MVP賞…岩崎弘紀さん(都咲喜)、YOSAKOI安曇野KIDS賞…出場した全17のジュニアチーム



高齢者にやさしい講習

7/19 高齢者交通安全教室

市環境課は7月19日、高齢者交通安全教室を穂高自動車学校で開きました。この日は豊科本村・吉野・成相地区から20人の高齢者が参加。安曇野警察署交通課長と市交通指導員による講話に続き、屋外コースに出て実際に車両を使った説明が行われました。電動車いすの走行実演では、「歩行者と同じ右側通行とは知らなかった」「意外とスピードが出るね」と参加者も認識を新たにしていました。昨年度、市内の交通事故死亡者の6割が高齢者でした。交通安全に対する高齢者の関心を高めるため、市では本年度、高齢者交通安全教室を3回開催する予定で、参加を希望する老人クラブを募っています。



漆芸家・高橋の歩み振り返る

7/19 名誉市民・高橋節郎さん没後1年

市の名誉市民で漆芸家の高橋節郎さんが亡くなって1年、その作家人生を振り返る企画展「漆芸家・高橋節郎のあゆみ」の開会式が、7月19日、安曇野高橋節郎記念美術館で行われました。式には、県内外から関係者約150人が参加。故人をしのびつつ展示会の開催を祝いました。式では、高橋さんが生前故郷を思い詠んだ詩に、豊科出身の作曲家で、高橋さんとは高校と大学の後輩にあたる飯沼信義さんが曲を付けた楽曲「穂高の四季」が披露されました。管弦楽とバリトン、コーラスの響きに、高橋さんの妻・千笑さんは「感激で胸がいっぱい」と声を震わせていました。

なお、展示会は8月24日まで。